

平成30年度第1回秋田県立保呂羽山少年自然の家運営協議会 要旨

1 日 時 平成30年6月4日（月） 午後2時30分から午後4時まで

2 場 所 秋田県立保呂羽山少年自然の家 研修室

3 出席者

(1) 委員（五十音順）

伊藤委員（副会長）（代理出席）、佐藤委員、白澤委員、鈴木（康）委員（会長）、高橋委員

(2) 生涯学習課

藤原主任社会教育主事、櫻庭社会教育主事

(3) 保呂羽山少年自然の家

高橋所長、田村副主幹（兼）班長、照井主任社会教育主事（兼）班長、北畠社会教育主事、佐々木社会教育主事、石塚主査、菊地技能主任、瀬戸研修員

4 議事概要

(1) 所長あいさつ

(2) 生涯学習課あいさつ

(3) 運営協議会会長選出及び会長あいさつ

(4) 議事

① 平成30年度の運営方針について

② 指導班重点推進事項と主催事業について

5 委員からの主な意見

- ・ 保呂羽山少年自然の家の情報が多くの地域住民の目に触れるよう、自治体広報誌や地域情報誌等を積極的に活用し、幅広く情報を発信する努力が重要である。
- ・ プロジェクト・アドベンチャーが集団における人間関係づくりに有効であるということを知ることによって、小中学校以外での利用が増加するのではないか。
- ・ クマを含めた安全対策には、引き続き十分配慮していただきたい。
- ・ 利用者アンケートによる満足度の把握と結果の向上について、分析と改善を引き続き頑張っていただきたい。
- ・ 団体利用の引率者を対象とした講習の場を設けることで、利用団体全体の満足度が向上できるのではないか。
- ・ 地域の観光誘客資源としての自然体験という視点も考察していく必要がある。
- ・ ニーズに応じた経営ができるよう、冬季閉所期間中の臨時開館などを県教育委員会と協議していただきたい。